

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

初回作成日:2026年3月31日
前回改訂日:一年一月一日
最新改訂日:一年一月一日
版番号:第1版

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称

製品名	GeneAll Exgene™ Stool DNA
製品番号	GA115-106 (Mini 6 回用サンプル) GA115-150 (Mini 50 回用)
バッファー名	バッファーFL Buffer FL

1.2 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細


製造元の会社情報	GENEALL BIOTECHNOLOGY CO., LTD GeneAll Bldg., 303-7, Dongnam-ro, Songpa-gu, Seoul, 05729, Korea
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

危険有害性項目	危険有害性区分
物理化学的危険性	区分に該当しない/分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分:4
急性毒性(経皮)	区分:4
急性毒性(吸入)	区分:4
皮膚腐食性/刺激性	区分:1
環境に対する有害性	
水生環境有害性 長期(慢性)	区分:3

2.2 GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	 GHS05 GHS07
注意喚起語	危険
危険有害性情報	
物理的危険性	該当しない

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

健康有害性	H302: 飲み込むと有害
	H312: 皮膚に接触すると有害
	H314: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
	H332: 吸入すると有害
環境有害性	H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P264: 取扱後は手をよく洗うこと。
	P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
	P271: 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
	P273: 環境への放出を避けること。
	P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P301+P317: 飲み込んだ場合: 医療処置を受けること。
	P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
	P302+P361+P354: 皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。
	P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P305+P354+P338: 眼に入った場合: すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P316: すぐに救急の医療処置を受けること。
	P330: 口をすすぐこと。
	P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P363: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別 : 混合物

3.2 化学名又は一般名

	化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲
①	チオシアン酸グアニジン / グアニジンチオシアナート Guanidine Thiocyanate	593-84-0	1~5%
②	N-ラウロイルサルコシナトリウム塩 Sodium N-lauroylsarcosinate	137-16-6	15~25%
注意	本製品に含まれる成分のうち、組成や濃度が営業秘密に該当するものについては、関連法規に基づき、成分名を非公開、濃度を非公開もしくは幅記載としています。また、製品仕様上、濃度にばらつきがある場合は、幅記載としています。SDS に記載がなくとも、危険有害性を有さない成分、法令により開示義務のない濃度未満の成分が含まれている可能性があります。		

4. 応急措置

一般的な情報	必要な処置をとるために、この SDS を担当医に見せること。
	直ちにばく露場所から避難させること。
	火傷や眼に接触した場合は、医療処置を受けること。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

吸入した場合	患者を新鮮な空気のある場所に移し、安静にさせること。
	症状が現れた場合は、医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。
	皮膚を多量の水で少なくとも 15 分間洗い流すこと。
	医療処置を受けること。
眼に入った場合	水で少なくとも 15 分間注意深く洗い流すこと。
	コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
	直ちに医療処置を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。
	無理に吐かせないこと。
	直ちに医療処置を受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	周囲の火災に適した消火剤(水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤)を使用すること。
使ってはならない消火剤	情報なし

5.2 火災時の特有の危険有害性

危険有害性	熱分解により、毒性/刺激性のヒュームが発生するおそれがある。
	有毒ガスが発生する危険性があるため、酸との接触を避けること。

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具

消火を行う者の保護具	自給式呼吸器(SCBA)と完全防備の防護服を着用すること。
------------	-------------------------------

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項	区域を換気すること。
	粉塵やエアロゾルの発生を避けること。
保護具	項目 8 を参照のうえ、適切な個人用保護具を着用すること。
緊急時措置	不要な人員を避難させること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	排水溝/水路への流入を防ぐこと。
------------	------------------

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込め及び浄化の方法・機材	不活性材料(バーミキュライトや砂)で吸収し、廃棄用の容器に回収すること。
	有害廃棄物として処分すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

安全取扱注意事項	ドラフトチャンバー内や換気の良い場所で使用すること。
	皮膚や眼との接触を避けること。
	粉塵やミストの吸入を避けること。

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

7.2 保管

安全な保管条件	容器をしっかりと密閉し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。
	施設した場所に保管すること。
	酸から離して保管すること。

7.3 その他の情報：特定の最終用途は、項目 1.2 を参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度等

管理パラメータ	データなし
---------	-------

8.2 設備対策

ばく露を軽減するための設備対策	局所排気装置またはドラフトチャンバーの使用が推奨される。
-----------------	------------------------------

8.3 保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合や、エアロゾルや粉塵が発生する場合は、適切な政府基準により試験・承認された呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	ばく露物質の物理的・化学的特性に適合した耐薬品性の保護手袋を着用すること。 汚染された場合は交換すること。
眼及び/又は顔面の保護具	化学物質飛沫用ゴーグルとフェイスシールド
皮膚及び身体の保護具	白衣または耐薬品性の保護衣 つま先とかかとの覆われた靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態(外観/形状)	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(液体、ガス)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限值	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
分子量	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	適切な使用条件および保管条件下では安定している。
危険有害反応の可能性	酸との接触により、極めて強力な毒性ガスを発生する。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

危険有害性項目	内容
急性毒性(経口)	飲み込むと有害
急性毒性(経皮)	皮膚に接触すると有害
急性毒性(吸入)	吸入すると有害
皮膚腐食性/皮膚刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	本品に0.1%以上含まれる物質の中で、IARCにおいて、ヒトに対して発がん性の可能性がある、疑いがある、確認されている物質として分類されているものはない。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

混合物としての情報の他、成分(原体)の環境影響情報を以下に示す。

12.1 生態毒性

生態毒性	内容
魚類に対する毒性	データなし
甲殻類に対する毒性	データなし
藻類に対する毒性	データなし

12.2 残留性・分解性

バッファーFL	データなし
N-ラウロイルサルコシナトリウム塩	良分解性

12.3 生物蓄積性：データなし

12.4 土壌中の移動性：データなし

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性	データなし
-----------	-------

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

13. 廃棄上の注意

13.1 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

製品及び残余廃棄物	内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険有害性を告知すること。
	環境への放出を避けること。
汚染容器及び包装	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処理すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号 (UN Number)	非該当
品名(国連輸送名) (UN Proper Shipping Name)	非該当
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	非該当
容器等級 (Packing Group)	非該当
海洋汚染物質	非該当
ユーザー向け特別注意事項	ADR/RID(陸上規制)、ADN(内陸水路規制)、IMO/IMDG-Code(海上規制)、ICAO/IATA-DGR(航空規制)で規制された危険物ではない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

15. 適用法令

15.1 該当法令

化審法	非該当
化管法/PRTR 法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
廃掃法	産業廃棄物
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSGA0030-2)
GeneAll Exgene™ Stool DNA:バッファーFL

水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当

16. その他の情報

この安全データシート(SDS)は、作成時点において入手可能な製品情報および危険有害性情報に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。このため、新たな情報を入手した場合には、内容を追加または訂正することがあります。また、本 SDS に記載された情報は、製品の通常の取扱いを前提として提供するものであり、すべての使用条件下での安全性を保証するものではありません。ご使用に際しては、実際の作業条件に応じて十分な安全対策を講じてください。

引用文献及び参照ホームページ等

- ・サプライヤー提供の SDS
- ・JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上